

仁 頃 山		標 高
にころやま		829m
登 り	1:35	3:54
山 頂	0:50	
下 り	1:11	

△△ 仁頃山〔奥新道・管理車道・中央道〕△△

11月12日晴れ気温3度、羅臼岳、雌阿寒岳の遠征はことごとく雨に見舞われたへっぽこ登山隊、今朝は冷え込みましたが日中は温かくなるとの予報に秋晴れの山頂を求め国道333号線を仁頃山へと向かいました。

メタボ解消や病後のリハビリ、暇つぶしと目的多彩な隊員4人は、朝日を受け黄金に輝くカラマツ林を抜けて富里ダムへ向かい、早くも7、8台が並ぶ管理車道の登山口を過ぎてふれあい橋に到着、日陰の駐車場は凍結してヒンヤリとした空気が起き抜けの体を呼び覚ましてくれます。

橋を渡り貸切り状態の奥新道を川に沿って進み、西尾根道との分岐からしばらくキツイ登りが続き小春日和の日差しが汗を滲ませます。

いつものカメのような歩みを進めていくと「極楽尾根」から山頂のアンテナが垣間見え、さらに進んでいくと右手に管理車道に続く横断道の分岐があり、ここを直進し西側の稜線を目指してノロノロと進んでいくと、視界が開けアンテナがグッと近づき左から西尾根道が合流します。

道端の所々に雪が残っていますが風もなく暖かな日差しの山頂に到着すると、見渡す限り続く青空の下で遠望が楽しめ、サロマ湖や北大雪、十勝、阿寒、斜里の山々と足元に富里ダムや北見の市街が広がっていました。

残念ながら羅臼岳は霞んで見えませんでしたが、爽快な景色を眺め帰りは管理車道の5合目「元気の木」から中央道を下り、足首まで埋まる落ち葉が敷詰められた道をふれあい橋に戻りました。

昼食を予定していたそば工房が臨時休業で飢え死にしそうな中、留辺蘂まで足をのばした北見温泉の効能で筋肉痛の後遺症も無く、へっぽこ登山隊サマーシーズンを無事に締め括ることができました。

